

の 広報 ほりぼつ

●にぎわうサンライバスキー場

本格的なスキーシーズンを迎え、サンライバスキー場ではファミリー・スキーヤーやスノーボードを楽しむ若者達でにぎわっています。1月26日には、スキー修学旅行の第一陣として、福岡県立東鷹とら高校の先生、生徒たち総勢278人が訪れ、北海道のパウダースノーを楽しんでいました。



特集

- ◆平成6年度市民海外派遣
帰国報告
- ◆市民リポート
登別地方高等職業訓練校を訪ねて
市民リポーター 大村朋子
- ◆所得税、市・道民税の申告
きらり
- ◆ハクチヨウを愛して19年
下川原栄吉さん

2/1
1995
No.532

平成6年度 市民海外派遣

帰国報告



トワンダ町役場を訪問。リチャード・スネール町長から友好のしるしとして、「トワンダ町のガキ」を贈られた一行



市は、国際化時代に対応できる人材を育成し、登別市の新たなまちづくり役に役立てるため、「いきいき人とまち基金」を活用して市民を海外に派遣する研修を行っています。

昨年10月12日から21日までの研修では、北海道と姉妹州になっているアメリカ東部のマサチューセッツ州や登別ふるさと大使のピーター・ヘンティさんが教師として活躍しているペンシルバニア州トワンダ町などを、市民9名が訪問しました。今回は現地の印象と、3つの研修テーマについて、帰国したみなさんから報告していただいたので、その内容を紹介します。

アメリカの

印象について

宇都宮 ポストン美術館を視察して感じたことは、単に有名な絵画

を展示しているだけではなく、その作品が一つの「絵」に至るまでの過程を大切にしていたことでした。このことは文化にも言えることですが、アメリカで「文化」とは外からの借物や、降って湧いて来るものではない、その国、その地方の歴史の積み重ねの中で成熟するものだ改めて実感しました。山口 地方都市を視察して、アメリカ人は歴史とか文化を大切に保存して、それを観光資源の一つにしていると感じました。更に、この観光資源を活用するために付加価値も付けていました。当市も観

光都市なので観光ボランティアガイド等の協力を得て、積極的に進めて行くことが必要ではないかと思えます。

荒関 アメリカでは消費税に相当する物品税が、食料品や衣料品を除いた極一部の物に課税されています。ポストンで行われた行政に関する意見交換で、物品税は州ごとに住民の意見を反映して決められると説明がありました。日本は生活必需品にも消費税がかけられている実態から、アメリカは弱者に配慮した行政を行っていると感じました。

研修テーマ 「国際姉妹都市 について」

荒関 異なる生活習慣や文化を相

異なる生活習慣や文化を相



かいどう わかこ
二階堂和香子さん
(千歳町・33歳)



あらい ざくろ
荒関芳弘さん
(千歳町・51歳)



やまぐち しゅうじ
山口正二さん
(常盤町・51歳)

互に学び理解するために、外国との姉妹提携は良いことだと思いますし、まちの発展にもつながると思います。今回訪問したトワンダは歴史のある小さな町で、治安も良く自然もいっぱいある環境の整った素晴らしい所でした。特に、ピーターさん一家が愛着を持って住んでいることもあって安心感もあり姉妹都市の候補地の一つになると思います。

二階堂 姉妹都市を考える場合、人口や地理的環境、産業など共通性のある都市と結ぶ方が良いのではないかと思います。

市橋 永続的な交流を進める上で、姉妹提携前のような分野で何をメインに交流するのかが考えることも必要だと思います。

山口 登別は観光地なので観光面から候補地を考えた方が良いでしょう。ないかと思えます。

トワンダの人々は友好的ですし、また、ホームステイもできるので、中学生の研修地とした方が良いでしょう。

研修テーマ2 「アメリカにおける 教育事情について」

山口 日本では均一な教育が行われていますが、アメリカは「州の責任に所屬する」という考えで、「自分達の子供は自分達の手で」をモットーに教育が行われています。教育費の大部分はその学校区の住民の税金で賄われています。

教員の雇用は、日本が終身雇用制であるのに対し、アメリカでは新任から3か年は年契約になっていて、厳しい評価を受けて更新されています。

市橋 訪問した校舎は木造でとても古いのですが、きちんと管理されています。各々の教室には大きな星条旗が掲げられていました。これはアメリカが多民族のため国旗が国民の精神的な依り所の一つになっているようです。

宇都宮 私は登別で英語の指導をしていたビーターさんがトワンダで日本語の教師になっていた事に驚きました。彼は、町で中学生、高校生に日本語を教えるほか、トワンダ周辺の3つの町の生徒にも

日程表

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	
登別市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発
登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発
登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発
登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発	登録市発

ます。日本の大人はタバコを吸う学生などを見ても注意をしません。アメリカではお酒を売るにしても年齢を確認するなど子供に対して社会的な厳しさがありません。日本でもこのような厳しさが必要ではないかと思えます。国民性の違いもあるかも知れませんが、トワンダで生徒が明るく伸び伸びと授業をしている様子を見て、アメリカの教育制度から私達が学ぶべきことも多いと感じました。

研修テーマ3 「中学生の海外派遣 研修地の適地について」

二階堂 高校時代にアメリカに留学した自分の体験から、中学2年生程度の語学力では会話に少し不安もありますが、日本では学べないたくさんある事を学べると思えますし、また、帰国後新たな視野を持つて勉強ができると思えます。

工藤 トワンダは田舎独特の暖かみを感じ、治安も良く季節も登別と同じくらいなので、中学生の研修地としては大変良い町と思えます。

二階堂 中学生がトワンダを訪れると、日本語を学んでいる生徒と一緒に授業参加するなど有益な交流ができ、また、トワンダの子供達が日本語を学ぶ励みにもなると思えます。

人が多いですから、中学生が訪問してもすぐに溶け込んで楽しい研修ができると思えます。

宇都宮 アメリカはイギリスから自由を勝ち取った歴史があります。この自由を勝ち取るためにはなければならなかった自分に対するおきてのようなものが、アメリカの気質としてあることを中学生に学んで欲しいと思えます。(敬称略)



▲トワンダ中学校の生徒たち

平成2年度から行った市民海外派遣研修者の研修報告書は、企画調整室国際交流担当(☎1122)に備えてあり、いつでも閲覧することが出来ます。



工藤 瑠璃さん
(若草町・23歳)



宇都宮 和さん
(上登別町・41歳)



市橋 真理子さん
(若草町・29歳)



越川 慶さん
(美園町・22歳)

練校を訪ねて



▲先生の指導により、立体的展開図を作成中の板金科



技能実習の墨付けで戸惑い、説明図を穴のあくほど見つめる
大村リポーター

汗を流し働く若者達

おおむらともこ
市民リポーター 大村 朋子 (鉾山町・19歳)

「汗を流し働く若者」を題材にリポートしようと考え取材先を探していたとき、知人が「職業訓練校を取材しては」とヒントを与えてくれた。でも待てよ、訓練校という所は、これから社会に出て働く人が学ぶ所であり、「働く」というテーマからそれるのでは、との思いが一瞬私の脳裏をよぎった。が、締め切りはせまっている。まずは、訓練校を訪ねてみよう。

へえー、
これが職業訓練校
なんだ

道南バス若山営業所の向いにある登別地方高等職業訓練校を訪ねた。自分、自分の勉強不足を思い知らされた。訓練校で学んでいるのは、すでに社会に出て働いている人達ばかり。みなさん、職場からの推薦を受けて学んでいるという。

訓練校の授業は、学ぶ科目によって、夜間コースと昼間コースに分かれている。夜間コースは17人、昼間コースは9人が学び、平均年齢は20歳ということだ。

夜間コースには2年間学ぶ建築設計科、1年間学ぶ経理事務科、OAシステム科があり、主に勤め帰りの人が学んでいる。授業時間は月、水、金曜日の午後6時から午後9時までである。

昼間コースには2年間学ぶ木造



▲山崎先生(左)に実習道具を選んでもらう

建築科、板金科、建築塗装科があり、すでに大工さんや板金屋さん、塗装屋さんとして働いている人が学んでいる。昼間コースの授業は、積雪期の1月から3月までの間は、月曜から金曜の午前9時から午後3時まで訓練校で行われるが、ほかの期間は訓練校で月2回学び、あとは各職場において実務のなかでの技能訓練となる。

訓練校で学ぶ人達の最終目標は、卒業までに検定を受けて、それぞれの資格を取得することだそうです。

よおーし、
大工さんの技に
挑戦だ

訓練校のあらましを取材した後、さっそく技能実習に挑戦。

市内に女性の木工さんはいないらしいという話を聞き、それではこの機会に大工さんの技能を学んでやれとばかりに、木造建築科の



▲木造建築科のみなさんに交じって「こしかけあり継手」づくり

仲間に入れてもらった。木造建築科担任の山崎興一先生が、仲間となる生徒のみなさん4人に私を紹介してくれた。少し緊張。みなさんの名前を覚えてもらい、先生から今日の作業内容について説明を受けた。

現在、木造建築科の技能実習では、物品庫を製作している。大きさは一般家庭の物置ほど。授業で使う工具を収納するのに使用するそうだ。製作のリーダーは稲原さん。現在20歳で、もう4年も実社会で大工さんの経験を積んでいる。ノミなどの道具の使い方も堂に入る落ち着いた仕事ぶりだ。

トントんカンカンという音が響き渡り、さて、私も何かを作るということになった。先生から出された課題は「こしかけあり継手の製作」。何のことか分からない。先生から手渡されたし字形をした金属の物差し(曲尺)と、墨

登別地方 高等職業訓



▲板金科の授業風景を取材



▲木造建築科の作業風景。(手前がリーダーの稲原さん)

の着いたヘラを握りしめていると、先生が黒板に図を描いて作業の説明してくれた。どうやら、部材同士をつなぐための、ほぞ(凸)と、ほぞ穴(凹)を作るという木造建築の基礎のなかの基礎らしい。

「まずは、曲尺を使って墨付けしてごらん」と言われ、取り掛かった。墨付けは、木材に切り込みの線を描く作業だが、思いのほか難しく、黒板の平面図を見ても、これから作らなければならぬ継手というものの立体イメージが思うように湧いてこない。

少し離れたところで作業をしていた稲原さんが、心配してか、はたまた物好きな奴と思っただ、それとなくのぞきにやってくる気配がする。またまた緊張。先生の手を借りながら墨付けをようやく完了。休憩となった。

おお、

これぞ若い大工さんの 心意気だ

休憩の間、木造建築科のみなさんにインタビュー。年齢は21歳、20歳、19歳、16歳と、みなさん若い。大工さんになった動機をたずねると、「なんとなくだね」「すすんで大工になる若い奴はいないんじゃないの」など予想どおり(?)の答えが返ってきた。

しかし、こんな答えで満足する私ではない。本音に近づこうと、突っ込んだ質問をさらにあびせる。みなさん、仕事にはこりや、楽しさを感じませんか。すると、兄貴肌の稲原さんが、「仕事を任せてもらうようになり、楽しさがでてきたね。それに自分が作った部屋なんかは、人から何か言われないために責任を持って作るよ」と話してくれた。さすが、キャリア4年、若い大工さんの心意気だ。

稲原さんの話を聞いて、物を作ることの楽しさは、自分自身の技術を磨けば磨くほど、それが自信といっしょになって返ってくるように思えた。そのためには、人並み以上の努力と忍耐が必要だろう。なるほど、もしかすると訓練校はその根気を養う所なのかもしれないと、新たな発見をしたような気持ちになったとき、休憩時間が終わった。



▲完成間近のほぞ穴(凹)

いよいよノミと金づちを使っての木材加工に挑戦だ。金づちは、ふだんでも時々使うので、今度は大丈夫と思いきや、いきなり金づちで手を打つわ、ノミを逆さに使ってしまった、ほぞ穴を広げてしまわ、墨付けを消すわ、もうたいへん。みんなが、横目でチラチラ見ている。

見かねた先生が、笑いながらやってきた。またもや先生に仕上げてもらい(98%ほど)、たいへんお邪魔しました。という成果を残し、2時間ほどの技能実習を終えた。

そうか 仲間との出会いが あるんだ

正直に言うと、私はリポートを開始したとき、すでに厳しい社会に出て、専門的で複雑な仕事をしているみなさんが、一般的に知識を広く浅く詰め込む傾向にあると学ばなければならないのか、と思っていました。

登別地方高等職業訓練校では 平成7年度訓練生を募集しています。

原則として現在就職している方に限りますが、未就職者も相談ください。

▷科目(年限・受講資格) 木造建築科・板金科・建築塗装科(昼間2年間・中学校卒業以上)、建築設計科(夜間2年間・高校卒業以

上)、経理事務科・OAシステム科(夜間1年間・高校卒業以上)

▷定員 各科10名

▷申し込み 3月31日までに登別地方高等職業訓練校(☎1450)へ

でも、実際にリポートし、体験実習を終えたとき、訓練校で学んでいるみなさんは、技能と専門的知識を学ぶためだけに来ているのではなく、同じ目標を持った者同士がここで出会い、一緒に努力し、将来の夢や希望を語り合うことを通して刺激し合い、技能だけではない何かを見つけられることなのかもしれないと感じました。

これからも、それぞれの目標に向かつて頑張ってほしいと願い、訓練校を後にしました。

所得税、市・道民税の申告は

期限内に

2/16 ~ 3/15



特設税務相談所の開設

税務署と市は、申告相談と受け付けを行います。相談の案内を受けている方は、混雑を避けるため、指定された日時においでください。

特設税務相談日程表

月 日	場 所	時 間
2月22日(水)	市民会館	9:30~12:00
2月23日(木)		13:00~16:00
2月24日(金)		

また、市民税係以外の会場でも、次のとおり申告相談と受付を行います。

市・道民税申告相談日程表

月 日	場 所	時 間
2月27日(月)	観光協会	9:30~12:00 13:00~16:30
2月28日(火)		
3月1日(水)	鶯別公民館	9:30~12:00 13:00~16:30
3月9日(木)		
3月10日(金)		
3月2日(木)	登別公民館	9:30~12:00 13:00~16:30
3月3日(金)		

市・道民税の申告が必要な方

平成7年1月1日現在、登別市に住んでいる方、または住んでいた方で、前年(平成6年1月から12月)に収入があった方です。

ただし、次に該当する人は、原則として申告の必要はありません。

- 税務署に確定申告をされた方
- 勤務先で年末調整が済んだ方
- 収入が公的年金だけで、次に該

当する方

・ 昭和5年1月2日以前に生まれた方で、年金総額が25万円以下の方

・ 昭和5年1月3日以後に生まれた方で、年金総額が101万円以下の方

○ 収入がなく、扶養家族になっている方

※ 申告が必要な方には、市・道民税の申告についてのハガキを2月10日(金)までに郵送しますので、ハガキを持参の上、必ず申告してください。申告を行わない方には、児童手当・保育所の入所・就学援助・公営住宅の入居・金融機関などに提出する各種申請に必要な所得・課税証明書の発行ができなくなります。忘れずに申告してください。

▽ 問い合わせ 税務課市民税係 (☎1155)

所得税

平成6年分の所得税の確定申告は、2月16日(木)から税務署で始まります。申告期限は3月15日(水)までですが、3月6日(月)以降は、窓口が大変込み合うことが考えられますので、申告をされる方は、税務署の申告相談窓口で早めにお済ませください。なお、還付申告の受付は始まっていますので、必要な書類を整理して、早めに申告してください。

確定申告が必要な方

○ 営業などの収入、その他の事業収入や不動産収入のあった方

○ 土地や建物を売った方

○ 一時所得、雑所得などがあった方

○ サラリーマンの場合で次のいずれかに該当する方

・ 給与収入金額が1千500万円を超える方

・ 給与を2か所以上から受けている方

・ 給与所得や退職所得以外の所得金額が20万円を超える方

・ 医療費控除や住宅取得等特別控除などを受ける方

▽ 中途退職者で年末調整を受けなかった方
問い合わせ 室蘭税務署 (☎4151)

所得税、市・道民税の申告に必要なもの

- 平成6年中の収入金額を証明する書類
 - ・ 給与所得の源泉徴収票(原本)
 - ・ 公的年金等の源泉徴収票(原本)
 - ・ 報酬、料金などの受給額を証明する書類
 - ・ 事業収入や不動産収入などのある方は収入・支出の帳簿や領収書
- 平成6年中の社会保険料など支払いを証明する書類
 - ・ 国民健康保険料、国民年金保険料の領収書(平成5年度・平成6年度分など)
 - ・ 生命保険料控除証明書
 - ・ 損害保険料控除証明書
- 配偶者に収入がある方はその収入を証明する書類
- 医療費控除を受ける方
 - ・ 領収書または証明書
- 住宅取得等特別控除を受ける方
 - ・ 登記簿謄本(写)
 - ・ 工事請負契約書(写)または売買契約書(写)
 - ・ 住民票
 - ・ 借入金残高証明書など
- 朱肉を使う印鑑
- 所得税の還付を受ける方
 - ・ 本人の銀行名と口座番号

分別できてるかな？



ごみを出すときは、分別の徹底とリサイクルに心がけましょう

下表の○の中に曜日を記入して我が家の収集日のチェックをしましょう。

ごみステーションに出しても 収集できないごみ

●排出禁止物



- ・有害性、感染性、危険性、引火性のあるもの
 - ・著しく悪臭を発生するもの
 - ・長さが1.5mを超えるもの
 - ・容積が200リットルを超えるもの
 - ・重さが100kgを超えるもの
 - ・収集、運搬に支障のあるもの
- ※これらのものは、販売店、専門の業者または下記の許可業者に相談してください。

●一時的に多量に出るごみ

引っ越し、物置の片付けなどで、一時的に出るごみの量が200リットル以上(ごみ袋6袋分)の場合

●事業系のごみ

商店、事業所などの事業活動によって出るごみ
※これらのものは、自分で直接市の処理施設に搬入するか、下記の許可業者に相談してください。

許可業者

登別クリーンサービス株式会社 ☎880870 三協資源株式会社 ☎859681 (有)登和清掃 ☎880200 小林興業 ☎831222

主な燃やせるごみ (週2回○と○曜日)



- 出し方 ◆台所のごみは、良く水を切って ◆木くず類は、長さ50cm重さ10kg程度に
- ※なお料理くずなどの生ごみは、たい肥化して花や家庭菜園になるべく使いましょう

主な燃やせないごみ (週1回○曜日)



- 出し方 ◆スプレー缶は、必ずガスを抜いてから ◆ペットボトルなどの容器類は、中をすすいでから ◆刃物や割れた陶器・ガラス類はきちんとこん包して ◆じゅうたん類は、収集車に積める大きさに切るか、たたんで ◆分解できるものは、バラにして束ねて ◆乾電池・水銀体温計は透明な袋に入れ、他のごみと区別して、燃やせないごみの日に

引っ越しの際に出たごみや建築廃材、古タイヤ、コンクリートなどの不法投棄が増えています。野山や環境を破壊する不法投棄は法律で厳しく罰せられます。市の清掃工場・最終処分場は、土曜日・日曜日・祝日も開設していますので正しいごみ処理に努めましょう。

**不法投棄は
法律で
罰せられます**

なぜ？燃えるのに「燃やせないごみ」？

ビニールやプラスチック類は燃えますが、燃やすと高温を発生し、焼却炉を傷めたり、有害物質を発生する恐れがありますので当市は「燃やせないごみ」としています。





のぼりべつ リサイクルハウス 第1回公開



▲初めての開店、大勢の市民でにぎわったハウス内

昨年12月25日「のぼりべつリサイクルハウス」が初めて公開され、お目当てのリサイクル品を探す大勢の市民でにぎわいました。

同ハウスは、家庭や事業所などで使わなくなった再利用可能な家具などを持ち寄ってもらい、希望者に無料で提供するリサイクルシステムの拠点として、市が昨年7月市清掃工場横に新設したものです。

当日、同ハウスの中には、スケート靴やスキーなどのほか椅子や机、オーディオ製品、家庭用品など32品目95点が並び、一人3点までの引き取りで、昼までにはほぼ新しい持主が決まりました。

私が見た登別

観光に来たような気分ですね。



しみず まさみ さん
清水雅美さん
(千歳町)



—いつ登別に来ましたか
主人の転勤で、昭和62年の春に来ました。

—出身地はどこですか
生まれは北九州市で、中学生の時から東京都品川区大井町に住んでいました。

—そこはどんなところですか
古い和風の戸建住宅が多く残っている閑静な住宅地でした。当時、近所に郷ひろみが住んでいて同じ中学に通っていました。

—登別を知っていましたか
高校の修学旅行で来ました。

地獄谷が一番印象に残っています。こんなのが、地球の中から出ているんだと感心しました。

—登別に住んで見た印象は
観光に来たような気分ですね(笑)。遠くにでかけなくても、少し行けば温泉に入ったり、海を見たり、牧場もありますしね。もうちょっと市内の沿道に花があってもいいかな。街路樹の根元などに、宿根の多年草を植えるといいのでは(？)。

—そのほか何か
登別は、山で遊んだり、スキー、キャンプをしたり、東京ではなかなか経験できないことができる所ですよ。せっかくそんな環境で子供が育つので、受験競争ばかりに貴重な時間を費やさず色々なことを経験させてあげられるように、中学校から高校へと一貫教育をする所があると良いと思うのですが。

市民が自慢の漬物を持ち寄りコンクールや試食を行う、第18回つけものフェスティバルが1月12日に市民会館で開かれました。

この催しは、公民館講座「つけもの教室」で学んだ受講生らが始めたもので、毎年この時期に開く登別の名物行事になっています。

香ばしい漬物のおいがふれる会場には、主婦など71人から出品された「かす漬け」「ぬか漬け」「魚漬け」「かすみそ漬け」「アイディア漬け」5部門111点が並び、各部門の審査員が味や色、風味、歯ざわりなどから一品々を慎重に審査していました。

第18回 つけものフェスティバル



▲18回目をむかえ、新春を飾るお母さんたちのイベントとして定着



1月13日からしんた21(総合福祉センター)でジャズダンス教室が始まり、20代から40代の女性約20名が参加し、軽快なリズムにのって体を動かしていました。

昨年10月に続き2回目の開催となるジャズダンスは、血液の循環をよくし、体内に酸素を多く取り入れるエアロビクスと筋肉や関節を伸ばすストレッチを取り入れた新しいタイプのダンス。

講師はテレビCMの振り付けなどで活躍している塚田記久さん(北海道ジャズダンス協会事務局長・札幌市在住)です。

同教室は、3月まで毎週金曜日開催、午前の部と夜間の部の2コースがあります。また、生徒数に若干の余裕があります。問い合わせは保健福祉課(☎0100)へ。



▲昨年に続き開講した「ジャズダンス教室」

しんた21で ジャズダンス教室開講



▲今年の新成人は、男性567人、女性456人計1023人

輝く20歳 マリナーパークで成人祭

1月15日、登別マリナーパーク・ニクス内にある「ドルフィン館」で新成人を祝う式典が行われました。「思い出に残る登別市らしい成人祭を」と、テーマパークを会場に行う成人祭は今年で3回目。式典会場となったイルカのショーホール「ドルフィン館」は、振りそで、スーツ、はかま姿の665人の新成人でびっしり埋まりました。

式典では、成人祭実行委員会「ベントゴン」の木村義恭代表があいさつし、登別市長の式辞、登別市議会議長の祝辞のあと新成人を代表して原明男さん・手塚紀江さんが「社会人としての自覚を持ち、責任ある行動をしていきます」と二十歳の誓いを述べました。

仲間たち

母親の愛情で更生援助、犯罪や非行のない明るい社会づくりを

保護司と協力して犯罪を犯した人などの更生を助け、犯罪や非行のない明るい社会をつくらうと昭和56年に市内の婦人が結成した組織です。現在41名の会員が活動しています。主な活動内容は、千歳市にある女子黎明学院(女子だけの更正施設)や札幌市にある大谷染香苑(罪を償い終えた人が身元引き受け先の無い時に一時的に働きながら生活する更生施設)を慰問し悩みごとの相談を受けたり、刑務所を訪問して実状を把握するための研修などです。

また、青少年の犯罪や非行防止には地域の協力が欠かせないもので、ミニ集会を開いて犯罪防止の映画を上映したり、社会を明るくする運動、提灯まつり、ふれあい広場などの行事に参加して、地域の人の協力や理解を求めています。

代表の富山さんは「母親の愛情をもって犯罪を犯した子供達の更生を助け、問題の解決や心の支えになってあげよう」と努力しています。これからも地域のみなさんの協力をいただきながら、青少年の犯罪や非行の防止を続けて行きます。

「私たちは、明るい社会をつくる『縁の下』の力もちなんです」と、話してくれました。



登別地区更生保護婦人会
代表 富山 マサ子さん
(☎3609)



きらり

ハクチヨウを愛して19年

しも かわ ほん えい きち さん
下川原 栄吉 さん
(新川町・72歳)

幌別の市街地を流れる幌別川には今シーズンもハクチヨウたちが訪れ、優雅な姿で私たちを楽しませてくれています。

そのハクチヨウたちをことのほか愛し、毎日2回、19年間えさを与え続けている下川原さんに話を聞きました。

「ハクチヨウとの出会いはいつですか」

「昭和52年の冬でした。川の土手を散歩していたら迷子のハクチヨウを3羽見つけましたね。パンくずを与えてみたら、数日後には食べるようになりました。最初はそれぞれ名前をつけていたんですけど、年々数も増えてきて今では全部「チビ」です(笑)」

「えさはどうやって与えているんですか」
「ハクチヨウ広場の少し上流にえさ場があります。いろいろな試してみただけですけど、今は家畜の飼料用として売っているコーン油を絞った後のトウモロコシを与えています。これは水底に沈むので、カモメなどに横取りされないで落ち着いて食べられるんですよ。それと、やはりおいしいんですかね。なによりもよく食べるんですよ」

「えさは、今までは全部自費で買ひ与えていたんですけど、今シーズンから登別商工会議所婦人会のみなさんが援助してくれていますので、大変助かっています」

「ハクチヨウに接する時の注意点は」

「驚かさないといいことが一番ですね。ハクチヨウたちは非常におく病で一度驚かしてしまつと信頼関係の回復が大変なんです」

「3月には旅立ちを迎えますね」

「やはり寂しいです。旅立ちが近づくとだんだんえさを食べなくなるのでわかるんですよ。体を軽くして長旅に備えるんですよ。なんとか無事で、来年また戻って来てほしいという思いがいっぱいですね」
下川原さんがえさを与えていると、よく子供達が見学にやって来るそうです。その子供達も喜ぶ姿を見るのも楽しみのひとつだと語ってくれました。

近くに住んでいる人の話によると、ハクチヨウに雪玉を投げたり、犬をつながないまま散歩させたりする人がいるようです。絶対によめて欲しいと思います。



▲ハクチヨウたちは、手から直接エサを食べるほどなれている

友達の輪

わが家の自慢

せん 川 りゅう 柳



わ だ や い ち さん
和田ヤ工 さん
(登別東町)

川柳を始めて20年。登別川柳社に所属している和田ヤ工さんを訪ねた。

「年数を言えば長いけど、まだまだですよ。共働きしながら子育ての真ただ中、ふと『何かを学びたい』と思ったんです。そんなとき、ある人に川柳を勧められて」と、きっかけを話す。

「人生の節目や日常のふとしたことを17文字で書き留めておきたい。それが私の生きたあかしになるの」と、分厚いノートにびっしり雅号和田清琴の川柳がつづられている。

登別川柳社が発行する句集に毎月3句出す。「自分の思いを吐くというか、自分の気持ちを17文字でまとめるというのは、難しいんですけど、休まないで出します。句

集を読むと、自分と同じ気持ちの人がいたり、素晴らしい句との出会いもあった、感動してしまうんですね。やっとこのごろ『川柳ってこういうものかな』なんて、思うようになりました。奥が深いです」。

登別川柳社の平成5年代表作品賞を受賞した一句『その人が古里になる傘の中』これが和田さんの宝物。「この受賞も、川柳を続けている今の私があるのも、長い間ご指導いただいた故加納愛山先生のお陰です」と、話してくれた。

さて、私も哀愁漂う「サラリーマン川柳」でも始めてみよう！

《市民リポーター 白 沢 賢 一》

今回は、畠山義晴さん(登別本町)です。



となりまち ホットライン

室蘭市

だんパラ
スノー

フェスティバル



ユーモアと楽しさがいっぱいイベントです。雪の中で思いっきり遊びませんか。

- ▷日時 2月26日(日) 10:00~15:00
- ▷場所 だんパラスキー場周辺
- ▷内容 スノーモービル試乗会、雪上トリアスロン、玉入れ競争など(当日参加)

手づくりソリ大会参加者募集

全長150mのコースタイム、アイデア、パフォーマンス、仮装の総合点で順位を競います。

- ▷製作規定 素材・形は自由。ガラス、動力装置は不可、ブレーキをつけること
- ▷申し込み・問い合わせ 2月21日(火)までに室蘭観光協会(☎230102)へ

伊達市

霧生トシ子

ピアノリサイタルへ
お越しを



伊達市教育委員会と総合企画FMAは、「霧生トシ子ピアノリサイタル」を開催します。霧生さんは、パロックからガーシュインまで幅広いレパートリーを持ち、レコード・CDも数多く発表し、1985年には、カーネギーホールのリサイタルで絶賛されました。

- ▷日時 2月22日(水)18:30開場19:00開演
- ▷場所 カルチャーセンター大ホール
- ▷入場料金 大人2,500円(3,000円)、中学生以下2,000円(2,500円) ※料金は前売券()内は当日券
- ▷チケット取扱先・問い合わせ 総合企画FMA(☎0142231050)、だて歴史の杜カルチャーセンター(☎0142231515)

お知らせコーナー

平成7年

兵庫県南部地震災害の 義援金を受け付けています

1月17日早朝に発生した兵庫県南部地震は、兵庫県を中心とした関西地区一帯に多数の死傷者、建造物破壊など大きな被害が出る災害となりました。

日本赤十字社登別市地区は、この災害に対する市民のみならずからの義援金を受け付けていますので、ご協力をお願いします。

▽受付先 日本赤十字社登別市地区事務局(市役所社会福祉課) または各支所へ直接お持ちくだ

さい

▽受付期間 4月17日(月)まで

▽受付内容 義援金(現金)のみとさせていただきます

※送金手数料なしで北海道銀行・北海道拓殖銀行・北洋銀行・札幌銀行・郵便局から日赤の口座へ直接振り込むこともできますので、お問い合わせください。

▽問い合わせ 日本赤十字社登別市地区事務局(市役所社会福祉課内 ☎1911内線144)

臨時職員を 募集します

市は、平成7年度の臨時職員(採用登録を希望する方)を募集します。

応募して採用登録した方は、4月1日から平成8年3月31日までの期間中、必要時に選考して採用されます。

▽募集職種 事務・公務補・徴収員・窓口業務員・保母

▽賃金 事務・公務補・窓口業務員：時給690円、徴収員・保母：時給790円

▽申し込み 2月15日(水)までに市販の履歴書に記入のうえ職員課に持参してください

▽問い合わせ 職員課(☎51132)

フレッシュ ボイス

日本工学院北海道専門学校の情報ビジネス科を平成3年に卒業し、そのまま同校に就職して5年目になる宏子さん。現在は、教員室で学生の出欠や授業に関する全ての事務をこなしている。

「学生時代には、こわいイメージだった先生も一緒に仕事をしてみると、実は、大変優しくビックリしました」と、明るく話す宏子さん。

休みの日は、昨年から始めたジグソーパズルが面白くて、時間の経つのも忘れるほど夢中になってしまいうそう。しばらくはスキーの方は、お休みとか……

「本校の平成7年度の入学願書受付は3月31日までとなっておりますのでよろしくお願います」と、PRも忘れませんでした。



吉田宏子さん (千歳町・24歳★ふたご座★) 日本工学院北海道専門学校勤務

昭和36年の4月に金成マツ、6月に知里真志保が亡くなられてから今年35年の回帰を迎える。

「知里真志保を語る会」の事務局が幌別町3丁目の鉄南ふれあいセンター内に設けられ、仲間の努力により資料も整備されつつある。この登別から育った偉大な言語学者「知里真志保」の周辺を訪ねたい。

登別と幌別の境を区切るように海に大きく突き出ている岬がある。アイヌ語でランボクノツ、通称ランボツケ岬(富浦町)。江戸・明治時代から知られた地名で丘の高台は、広大な草原になって

リーフルカ(高い・丘・上)と呼ばれ、南西の高台から富浦側に「七曲り坂」と称する江戸時代の旧道跡もある。ここから眺めた恵山岬・噴火湾岸や駒が岳・トツカリシヨ・鶯別岬側の景観が素晴らしく、北海道の名付親、松浦武四郎が駿河国(静岡県)の薩埵峠から日本三景の三保の松原を眼下に「はるかに富士山を見るようだ!」と、激賞した歴史のある場所である(郷土史点描第30回より)。

七曲り坂の上り詰めた所から北

郷土史 点描

57

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

知里真志保を訪ねて(1)

ゆかりの地ハシイナウシの丘・リーフルカ

側に、江戸時代の旅行者の休息所跡と金成マツ嬬の語るアフルルバロ(あの世の入口)という大きなたて穴(地表から地下にややだ楕円形に掘った)がある。

昔から近づいてはいけない場所、

エカシの板久孫吉

さんが30

数年前に話してく

れたこと

を思い出

す。

また、

アフルル

バロは今

から40年

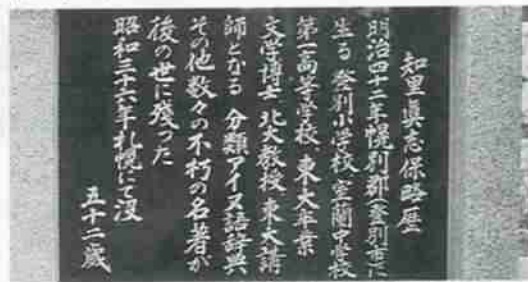
前の昭和

30年、知里真志保らの調査でたて穴式や階段状の地形が国内でも珍しく「学術的に貴重な遺跡であるから保存しよう」ということで、

国道36号の富浦頂上付近の路線の一部を大きく変更し完成している。

蘭法華高台の草原を東北に進むと、海の幸を祈る場所「ハシイナウシの丘」に着く。この丘の南東

は、急斜面で歩いて下りることは



▲「ハシイナウシの丘」(登別本町3丁目)に建つ石碑に刻まれた知里真志保の略歴

難しいが、下方は海岸平野が広がって青い海に面している。東側は、登別地区の人のほとんどが親しむ伝説の小山「フンベ山・鯨山」が、登別漁港(フシコベツ・古い川)を隔てて、白老町のボンアヨロに

あることを思い出した。それに対岸が森になっていて小さな丘のような所...とは言うまでもなく「アイヌ神謡集」の著作で知られる知里幸恵と弟の天才的言語学者知里真志保の育った所である。

登別の町並みもハシイナウシの丘から眺めると、春とも

もに緑の高台に囲まれた静かなたたずまいが広がって美しい。フンベの西側に登別川が、

町の南から西北にかけて川の面を銀色に輝かせながら、そ

れでもゆつくりとした落ち着きを見せて、対岸が森になっ

ている小さな丘のように見えるところから大きく西に曲が

り、やがてキムンタイ(山奥の森)の高台から大きく張り出し

ているヘサンケの右手の方向に、キラキラと光る輝きと陰を残しな

がら消えている。

川は山から流れ、海に入るもの

といわれている私共の考えと異なり、はるかに遠い昔の思いをもつ

人達には「それは海から陸にのぼってコタンの後方の山奥に入っ

て行く生きもの」という考え方の

「銀のしずく

降り降り、まわりに」と。

22年前、知里博士の同窓生約10

人の聞き取り調査に、登別高校郷

土史部の山岸誠君・川島信晃君・片

山哲也君らと幾度か登別を訪ねた。

当時66歳の高見チヨさん・片倉

ミヨさんら知里博士の小学校時代の思い出では、普通のいたずらっ

子の少年であつたらしい。

「とてもヒョウキンで他愛のないイタズラをしていましたよ。例えば、授業が終わって先生が廊下を歩いていると、静かにうしろについて行って先生の歩くまねをしたり、こっそり先生の肩をたたく仕草をして、見つかりそうになったら急いで真面目な顔をして真つすぐ歩く。小学校3・4年頃までは、天真爛漫で勉強も普通」と、語られた真志保少年はどう成長していくであろうか。次回で紹介。

まちかどぶらり



鬼みこし

J R 登別駅前

毎年、地獄まつりで約100人の若者に担がれ温泉街を勇壮に練り歩く鬼みこし。ふだんはJ R登別駅前に座って観光客を出迎えていますが、3月24日から4日間ハワイ・ホノルル市で開催される日布文化交流神輿祭り'95(通称・ホノルルフェスティバル)に参加します。この祭りは、ハワイ・オアフ島にハワイ日本文化センターが設置されたのを記念して国際観光振興会が主催するもので、登別からは、担ぎ手や応援団を含め約300人が現地に向かうことになっています。

みこしは、今月1日に登別を出発し、苫小牧から船で旅立ちます。

人のうごき

- 人口 57,277(+37)
 - 世帯 21,056(+11)
- ()は前月比

平成6年12月末日現在

鳥名 アカゲラ
観察時期 年中



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)

▷問い合わせ 伴野さん(☎7515)

僕はアカゲラ。中型のキツツキで、上半身は白黒のしま模様、下腹部はきれいな赤色なのだ。年中、山や低地の自然林に住み、春になるとラフソングのかわりに、木をたたく「ドラミング」彼女に僕の居場所を知らせるんだ。

僕らキツツキは、一昔前までは、木に穴を空けて枯らす害鳥の汚名に泣いてたけど、今では悪い虫の早期発見駆除者の益鳥として、高い評価をされているので安心してドラミングに励んでいます。

僕の決め手のポーズは、垂直に止まれること。何ととっても針のようにとがった硬い尾羽が体を支えてくれるし、太くて短い足の指が前後に2本ずつ別れ、つめがカギのようになっているからしっかりと木の皮をつかめるんだ。

さて、穴掘り態勢が整ったところで、僕の本領発揮といえますか。頭と首をハンマーのように使い、一秒間に20回の早ワザで木をたたくのは、脳震とうや頭痛を起すヤワな頭の持ち主には無理だね。冬場はエサ探しに穴掘りが多くなるけど、トゲのようになっていいる長い舌の先で「くらくら」と昆虫を引っかけて取り出すことができちゃうんだ。時々民家に現れるけど、牛の脂身が僕の好物なのよ。



この広報紙は再生紙を使用しています。